

留学記 平成 14 年卒 荒川悠佑 (2009/7~)

私が現在いるクリーブランド(Cleveland)は、アメリカ合衆国オハイオ州の北東部に位置する都市で、エリー湖の南岸、ペンシルバニア州との州境から西へ約 100km に位置しています。人口は約 48 万人で、全米で第 33 位の規模です。以前は、鉄鋼業の町として発達しシカゴと並んで五大湖工業地帯の中心であり、1950 年代には約 90 万人の人口を誇っていましたが、産業構造の変化により経済が衰退し、治安も悪化しました。近年になり、中心部の再開発が進み町の雰囲気は明るくなっています。



クリーブランド・クリニックは、ダウンタウンと郊外の間にあるユニバーシティサークル地区にあり、ここにはケース・ウェスタン・リザーブ大学をはじめとして、クリーブランド州立大学、美術大学、クリーブランド音楽学校等が集まる学術地区です。クリニックは、1921 年に創設され米国で最も大規模で敬意を持たれている医療機関のひとつです。従業員数は 2 万 6 千人にのぼり、クリーブランド市で最大の雇用主となっています。2009 年も US News & World Report によるホスピタルランキングにおいて全米 No.4 の評価を得ており、特に Heart center は 16 年間連続で第 1 位に輝いています。世界初の“輸血”“心臓バイパス手術”“腎臓の透析”等はクリーブランド・クリニックで行われました。教育にも力をいれており、世界中から多くの Clinical and Research Fellow が集まっています。



上:Dr. Miller の home party にて

下:クリニックの実験施設



私は Research Fellow として Transplantation Center (General Surgery) に所属しています。肝移植は Dr. John Fung を Chairman として、Liver transplantation の Director である Dr. Charles Miller により行われています。メンバーはアメリカ以外からもイタリア、スペイン、インド、アルゼンチン、日本（橋元先生：九州大学、藤木先生：京都大学、柴先生：慈恵医科大学）、中国等と国際色豊かです。研究では Dr. John Fung や Dr. Kelly とともにブタによる生体肝移植の実験を行っています。（随時、留学記を更新していく予定です。）



毎日、家からこんな感じに手術着で出勤をしています。これで、意外と違和感がないのが不思議です。右上の写真はクリーブランド管弦楽団の野外コンサートの様子です。週末に定期的に行われており、世界的に有名な管弦楽団のコンサートを、間近で聴くことができます。今後も随時、写真を交えながら更新をしていく予定です。

アメリカに来てから日々学ぶことが多く、自分の未熟さを痛感しつつも、日本では決して得ることのできない貴重な体験を大事にしたいと思います。最後になりましたが、このような貴重な機会を与えていただいた島田教授をはじめ、医局員の皆様方に深謝いたします。